



ソウルの風

平成28年1月1日

ソウル日本人学校
竹本晴哉

No. 3

鳥取県の皆様、あけましておめでとうございます。ソウルで2回目の新年を迎えました。お陰様で、公私ともに毎日中身の濃い、大変充実した日々を過ごしています。昨年度は、右も左も分からないまま、怒濤のように1年が過ぎました。忙しさは変わりませんが、今年度は少し見通しを持って、仕事ができているように感じています。残された派遣期間の方が短くなりましたが、今年も充実した1年を送れるよう与えられた任務を全力で全うしたいと思います。

日韓国交正常化50周年

1965年6月22日、「日本国と大韓民国との間の基本関係に関する条約」が調印され、同年12月18日に批准書を交換し、日韓両国の国交が正常化しました。昨年2015年は、日韓国交正常化50周年の年でした。これを祝して様々な記念イベントが行われました。その1つとして、6月に日韓国交正常化50周年祝賀行事が東京とソウルで同時開催されました。ソウルでの式典において、日韓の児童による合唱団が歌を披露しました。日本人学校から日本代表として約20人の子どもたちがこの日のために練習を重ね、式典に参加してきました。日韓の合同合唱団の歌声は参加者の心に響く、とても美しい歌声だったようです。メインの歌を披露した後は、日韓の子どもたちが一緒に焼肉を食べながら親睦を深めました。9月には、「日韓交流おまつり」というイベントも開催され、そこでも日韓合同児童合唱団が歌を披露しました。また、ソウル日本人学校中学部によるソウル太鼓も披露されました。国交が正常化した当時の両国間の人の往来は年間1万人程だったそうですが、現在は500万人を超えています。日本に一番近い外国である韓国とこれからもより良い関係を築いていくことが求められます。そのため、今回日本人学校の子どもたちが、祝賀会で歌を披露したことは大変意義深いことでもありますし、今後の日韓関係を築いていく子どもたちが友情を深めたことは何よりも貴重なものとなりました。



マラソン大会&駅伝大会

6月には、小学部のマラソン大会がありました。大会に向けて2週間前から全校児童による練習が始まりました。中休みを使ってみんなで10分間走をします。すでに日差しが痛いぐらい暑い時期ですが、みんなで切磋琢磨しながらがんばりました。そして、迎えた本番。バスで10分程の場所にある公園で開催しました。どの学年の児童も練習の成果をそれぞれが発揮し、粘り強い走りを見せてくれました。保護者も我が子のがんばりを一目見ようと、100人を遙かに超えると思われる大勢の方が応援に駆けつけてくださいました。

また、同じく6月に、中学部の駅伝大会が行われました。中学部は、1年生から3年生までの男女と一緒に体育の学習をしています。駅伝大会へ向けて、体育の学習で長距離走の練習を積み重ねてきました。1人が1周200mのグラウンドを12周から13周走ります。大会本番では、駅伝ということもあってチームの仲間に迷惑をかけまいと、みな必死で走り切り、たすきを繋ぎました。休憩時間や、授業の合間には、小学部の子どもたちもたくさん見学や応援に駆けつけました。中学生のお兄さんやお姉さんの雄姿を見て憧れを抱く子どもたちも多かったことでしょう。ここが、本校ならではのいいところだなあと、改めて感じました。ちなみに、中学部の体育の授業は私が担当しています。講師の時以来、久しぶりに中学生の指導をすることになりましたが、とても一生懸命にがんばる素直な生徒たちに恵まれ楽しく指導しています。



現地校との交流会

1学期は小学部、中学部ともに、各学年で現地校との交流会が予定されていました。しかしながら、「MERS」の影響で6月以降に予定されていた学年は、交流会を中止せざるを得ませんでした。かろうじて交流会が行えたのは、2年生と6年生のみでした。各学年ともに1年に2回交流会が行われます。1回目はソウル日本人学校側が招待する方で、2学期に行われる2回目は日本人学校が招待される側となります。現地校との交流は、子どもたちにとっては、これまでの学習で身に付けた韓国語を試すチャンスでもあります。事前学習では、韓国語を使って話し、韓国の子もたちと仲良くなりたいという思いを抱く子どもたちが多いです。私が担任している6年生の子どもたちも、韓国語を使ってコミュニケーションを図りたいと意気込んで臨んでいましたが、いざ、韓国の人を目の前にすると思うように話せないのが実際のところでした。そこで、韓国の6年生は、日本人学校の子たちが韓国語では話が通じないと感じると、すぐさま積極的に英語で話しかけてくれました。ここでは、韓国における英語教育のレベルの高さとともに積極的な韓国人の気質を感じた次第でした。また、現地校における交流会では、給食を一緒にいただく学年も多いので、韓国の学校の様子を知るうえでとても有意義でした。以前もお伝えしましたが、給食にも必ずキムチは付きものでした。下の写真は、6年生の交流の様子です。ドッジボールは韓国でも大人気の遊びのようです。



修学旅行

8月19日から2泊3日で、6年生は待望の修学旅行に行ってきました。「MERS」の影響で一時悔しい思いをした分、ようやく行くことができうれしさもひとしおだったことでしょう。6年生の修学旅行先は、ソウルから車で3時間ほどの場所にある江原道の東側です。と言われても分からないと思いますが、ソウルとは景色が全く違う海あり山ありの自然豊かなところ。鳥取県とも地勢がよく似ているため江原道は鳥取県と姉妹都市として様々な分野で交流事業を行っているところでもあります。また、2018年の冬季オリンピックの開催地は、ここ江原道の平昌（ピョンチャン）市でもあります。さて、6年生が行った江原道にある雪岳山という山は、韓国における最大の観光スポットのようです。修学旅行に行った日も、観光客が大勢いました。すぐ近くにはきれいな海もあり、残念ながら海水浴はしていませんが、子どもたちは、波打ち際で大はしゃぎでした。予想通りずぶぬれになる子がたくさんいました。日本における修学旅行と大きく違うことは、何といたっても宿泊するホテルです。私も当然韓国における初めての修学旅行でしたが、宿泊するホテルの豪華さに驚かされました。食事も部屋も修学旅行にしては贅沢過ぎるくらいでした。自然と贅沢を満喫した3日間の楽しい修学旅行となりました。



韓国一の観光地:雪岳山



1泊目のホテル



2泊目のホテル

運動会

1年のうちの最大の学校行事はやはり運動会です。今年度は体育主任という立場でしたので、私にとって一番、頭と気を遣った仕事となりました。幼稚部から中学部までの園児、児童、生徒、約400人が一堂に会して行う運動会は日本では味わうことができないものです。指導や運営面で難しい面もありますが、幼稚園児のかわいらしい姿から中学生の凛々しい姿までを見ることができるのは、とても新鮮で感動します。特に、中学生の応援団長を中心にした応援合戦は、迫力があって大変見応えがあります。また、中学生の徒競走やリレーもその速さと力強さは小学生の注目の的。今年度の運動会は、さわやかな秋晴れの中、どの学年も練習の成果を十分に発揮し大変盛り上がりました。閉会式では、終わりのあいさつを中学生の生徒会副会長が行いました。その大変立派で感動的なあいさつと共に運動会を無事終えることができました。



ワクニコハッピーフェスティバル

1年のうちのもう1つの大きな行事が「ワクニコハッピーフェスティバル」です。これは前回もお伝えしましたが、午前の部は学校主催のいわゆる音楽会。午後の部はPTA主催のお祭りです。子どもたちは、このお祭りをとっても楽しみにしています。今年度も保護者の方が協力し合って、いろいろなお店を出してくださいました。子どもたちは友達同士で、そのお店を自由に回って楽しい時間を過ごしていました。午後の部にもステージが用意されており、有志によるダンスやテコンドーの披露がありました。そして、我々職員も歌と合奏を披露しまし



**今回は学校行事を中心にお伝えしてきました。次回は、
観光スポットについて紹介できたらと思います。それでは、
今回はこれにて失礼します。鳥取県の皆さんお元気で!**
안녕하세요 (アンニョンハセヨ)